



総務部 危機管理課
電話：082-420-0400



## 令和5年度東広島市総合防災訓練の実施

### 1 概要

令和4年度から、各防災関係機関等相互の連携強化を図るとともに、地域の実情に応じた実践的な訓練とするため、地域分散型の総合防災訓練を実施している。

今年度は、「南海トラフ巨大地震」を想定し、訓練内容を新規・拡充して実施する。より多くの市民や企業・団体の参加のもと、訓練を実施するとともに、外部委託により一部訓練の企画・支援・実施してもらうことで、災害対応力の向上を図る。

### 2 開催日時及び場所

開催日時：令和5年8月26日（土）9時から12時まで ※土曜日開催は初めて

開催場所：本庁303会議室、消防局本庁舎、各住民自治協議会拠点施設など

想 定：南海トラフ巨大地震（M9.0 震度6弱）

### 3 内容

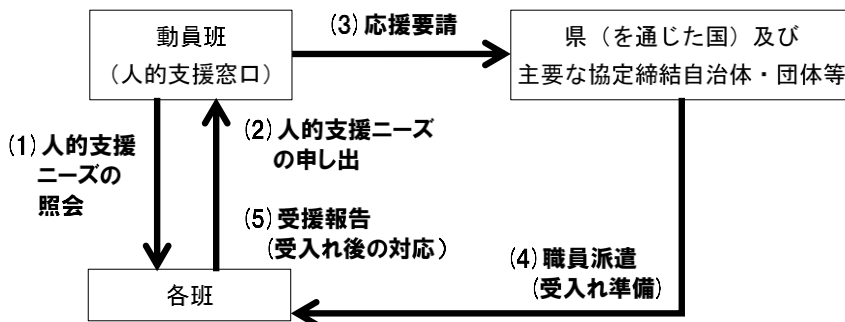
#### (1) 災害対策本部運営訓練（市役所本庁舎本館会議室303）

テレビ会議システム等により、他会場と連携し、被災情報の収集など連携強化を図る。また、受援に関する訓練は外部委託により実施する。

#### ・受援訓練の実施【新規】

災害対応班ごとに分かれて、巨大地震発生時の災害対応業務と、災害時でも継続が必要な通常業務について整理を行い、必要となる人員の可不足について検討する。不足する人員については、応援の要請を県や他市町及び協定締結団体に行うこととなるが、それらの応援の受入れをどのように行うのかについて検討を行う。

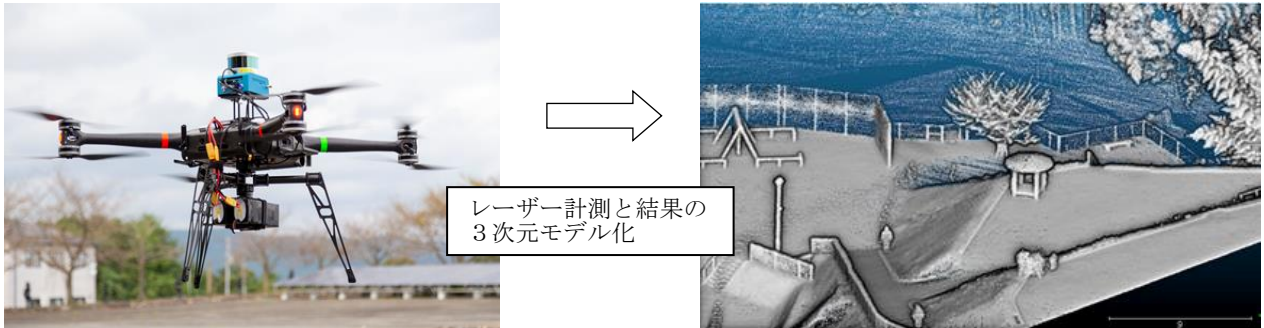
こうした訓練を外部委託により行い、大規模災害時における応援要請のイメージを醸成しつつ、専門的な視点からの助言・フィードバック等を受けることで、災害対応力の向上を図る。



## (2) 実動訓練（消防局本庁舎）

### ①関係機関・災害協定企業が参加しての応急復旧・救助訓練

昨年度参加の東広島警察署と中国電力ネットワーク㈱に加えて、陸上自衛隊第13旅団、広島ガス㈱、ルーチェサーチ㈱が参加し、応急復旧と救助訓練を実施する。ルーチェサーチ㈱は、ドローンを使ったレーザー搭載計測による3次元測量を行い、被災現場の確認を行う。



### ②消防局での市民参加型訓練【新規】

市民を対象とした、参加申し込み不要・当日参加可能の防災訓練を行う。消防団員等の指導のもと、消火器の取扱い、土のう作り、心肺蘇生法及び三角巾を用いた応急手当等のブースを設営し、訓練体験を行う。消防等が行う救助訓練の見学も可能。



実動現場（救助活動）

## (3) 地域訓練（住民自治協議会拠点施設等）

### ①参加自治協議会数

25自治協議会（約780人）参加予定

### ②地域ごとに様々な訓練の実施【拡充】

昨年度に引き続き、地域特性に応じた訓練を実施する。一部地域では、訓練前に外部委託による避難計画作成のサポートを受け、より実践的な訓練に取り組む。

【参加予定団体】7団体（消防団、水道広域連合企業団、ろうあ協会、女性連合会、広島国際大学、社会福祉協議会、第一環境㈱）

【訓練内容】津波避難訓練（安芸津地域）、避難所開設・設営訓練、応急給水訓練、排水ポンプ取扱訓練、初期消火訓練、応急救護訓練など



・避難所開設、設営訓練  
・iPadによる通信訓練



・排水ポンプ取扱訓練

### ③防災道の駅参加【新規】

防災道の駅である「道の駅西条のん太の酒蔵」が参加し、マンホールトイレ設置訓練や衛星携帯電話による通信訓練を行う。



・マンホールトイレ設置訓練